

シンポジウム 「ファルマコン —生命のダイアローグ—」

日時

2019年 12/22(日) 15:00~17:30

場所

京都大学稲盛財団記念館3階 中会議室

発表者

Florian Gadenne (フロリアン・ガデン、画家)

Jérémy Segard (ジェレミー・セガル、アーティスト) [スカイプによる参加]

Erkki Huhtamo (カリフォルニア大学ロサンゼルス校、メディア考古学)

大久保美紀 (パリ第8大学)

小澤京子 (和洋女子大学)

加藤有希子 (埼玉大学)

吉岡洋 (京都大学こころの未来研究センター)

プログラム

15:00-15:25 吉岡洋 挨拶と研究報告

15:25-15:50 加藤有希子 研究報告

15:50-16:15 小澤京子 研究報告

16:15-16:40 大久保美紀 研究報告

16:40-17:15 フロリアン・ガデン講演 (仏語 通訳: 大久保美紀)

17:15-18:00 全体討論 (通訳: 大久保美紀)

申込方法

件名に【「ファルマコン—生命のダイアローグ—」申込】と明記し
必要事項を記入の上、ご送付ください。

宛先: kokoro-art2@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

①氏名 (ふりがな)

②ご職業 (ご所属)

③返信用ご連絡先 (メールアドレス)

Gallery 8

兵庫県神戸市中央区海岸通9 チャータードビル2.3F

078-392-2880

オープニング 12/08 17:00-20:00

クロージング 12/25 16:00-20:00

オープニングゲスト: 中島智(芸術人類学者)

このシンポジウムは、吉岡洋が代表をつとめる研究プロジェクト「現代社会における〈毒〉の重要性」の活動の一環として開催される展覧会「ファルマコン—生命のダイアローグ—」(2019年12月8日-25日,12:00-20:00,Gallery 8,神戸)を踏まえ、研究プロジェクトのメンバーに出展作家を交えて行われるものです。毒と薬を共に意味する概念である「ファルマコン」をめぐって、美術や文学、現代の文化や社会、そして私たちの日常生活において、「生命」をどのように理解するかというテーマをめぐって、さまざまな角度から考えてゆきます。